

Panasonic®

取扱説明書

CDサウンドステーション



品番

CQ-C5300D



MP3 WMA

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

1DINにCD/MP3/WMAプレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャー
コントロール機能、高音質50 W x 4 chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応 1

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.36ページ)をよくお読みください。

MP3/WMA対応 1

本機でMP3/WMAファイルを再生できるメディアは、CD(音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク)です。
「MP3/WMAファイルについて」(P.24ページ)をよくお読みください。

タイトル表示対応、タイトルスクロール機能を搭載

CDテキスト 1(ディスク名/曲名)、MP3/WMAのフォルダ名/ファイル名、ID3 Tag/WMA
Tag(曲名、アーティスト名、アルバム名)、MDディスク名/曲名(MDチェンジャー接続時)を
スクロール表示できます。

交通情報などをボタン一つで受信できる、ダイレクトメモリー(D・M)機能を搭載

電源が切れているときも、どのモードからでも、ボタン一つで交通情報を受信できます。
また、好きな放送局を記憶させることができます。(P.29ページ)

音質効果が選べるサウンドクオリティ(SQ)機能を搭載

お聞きの音楽の種類などに応じて、車室内の音響効果やお好みに合わせて音質効果を選べます。
(P.14ページ)

ワンタッチ電動フロントパネル(P.15ページ)

ワンタッチでフロントパネルが電動でスライドして、ディスクを挿入できます。
15°、25°、35°の3段階の角度で、フロントパネルが傾き(TILT)、見やすい角度を選べます。

システムアップ用端子を装備

ツイン(CD/MD)チェンジャーコントロール機能(P.26、46ページ)
ツインチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)を使用すれば、最大2台まで接続できます。
ナビミュート機能(P.34、48ページ)
カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声をミュートすることができます。
外部音声入力(AUX-IN)付き(P.28、48ページ)
テレビのステレオ音声などを聞くことができます。
外部アンプと接続できるプリアウト端子(フロント/リア)付き(P.45ページ)

取りはずしのできる、デタッチャブルフェイスを採用(P.37ページ)

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難防止に効果があります。
ACC(車のアクセサリ電源)をOFFにすると、セキュリティメッセージが表示され、パネル取り
忘れアラームが鳴ります。(セキュリティ機能 P.34ページ)

お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の種類です。(2003年12月現在)

CDチェンジャー 1: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
MDチェンジャー 2: CX-MD6D

- 1: CDチェンジャーは、機種によってCD-Rを使用できないものがあります。また、CD-RWは使用できません。
MP3やWMA、タイトル(CDテキスト)表示などには対応していません。
2: MDチェンジャーは、MDLPおよびMDのグルーブ機能には対応していません。(MDLPは無音で再生されます。)

もくじ

ご使用前に

特長.....2
安全上のご注意.....4
使用上のお願い.....8
付属品・添付品の確認と準備.....9
各部のなまえとはたらき.....10

使う

基本操作.....12
電源ON/OFF 音源(ソース)の切替 音量調整 ミュート/アッテネータ
表示切替 ディマー SBC-SW SQ
パネルの開閉 角度調整(チルト) 時計調整
ラジオを聞く.....16
CDを聞く.....18
MP3/WMAを聞く.....20
MP3/WMAファイルについて.....24
チェンジャーでCD/MDを聞く.....26
他の機器の音声を聞く(AUX).....28
ダイレクトメモリーを使う(D・M).....29

使いこなす

いろいろな設定と調整.....30
音質調整.....30
機能設定.....34

必要なときに

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた.....36
パネルを脱着する.....37
故障かな!?.....38
取り付け・配線の前に.....42
取り付けかた.....43
配線のしかた.....44
仕様.....49
保証とアフターサービス.....50

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。



禁止

取り付け・アース配線等に、 保安部品を絶対に使わない

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12Vアース車で使用する



本機はDC12Vアース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。
火災や故障の原因になります。



配線・取り付け作業中は、 バッテリーの端子を必ずはずす

バッテリーの端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

必ずお守りください



警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、電源を切り、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの 妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、 拡張子「MP3」を付けない

WMAファイル以外のファイルに、 拡張子「WMA」を付けない

<ファイル作成時>



禁止

MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

電池は乳幼児の手の届かない ところに保管する



事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良の原因になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

⚠ 注意

電池は正しく使う

破裂により、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。



禁止

指定の電池以外は使用しない。充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）



⊕⊖を電池ケースの表示に合わせる。使いきった電池は、すぐに交換する。リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ポリ袋に入れる、テープなどを巻く）

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。
できるだけ本機から離してお使いください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、42ページをご覧ください。

リモコン 1個



パナソニック
リチウム電池
(CR2025) 1個

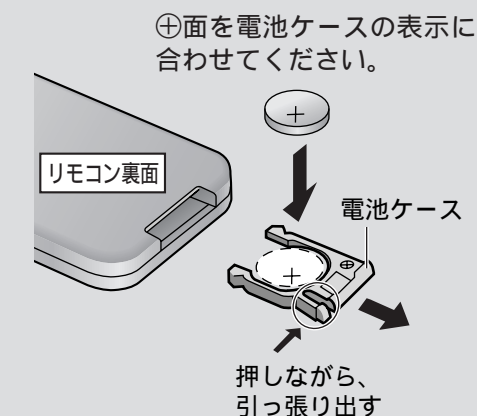


添付品

取扱説明書(本書).....1
保証書.....1

リモコンに電池を入れる

1 電池ケースを出して、電池をのせる



2 電池ケースを入れる

奥まで差し込んでください。

電池について

使用電池：
パナソニックリチウム電池(CR2025)

電池寿命：
通常の使用状態(常温時)で約6カ月

取り扱いの注意(7ページ)を、
よくお読みください。

各部のなまえとはたらき

本体

ソース パワー
SOURCE、PWR

- 音源(ソース)を選ぶ
- 電源を入れる/切る

チューン トラック
TUNE <>、TRACK |<<<>>>|

- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- 時間/分を調整する(時計調整モード時)

ミュート アッテネータ スーパーバスコントロールサブウーファー
MUTE (ATT)、 SBC-SW

- 一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)
- リアスピーカーから低音域だけを出力するか、全音域を出力するかを選ぶ

メニュー ディマー
MENU、DIM

- 機能設定モードにする
- バックライトの明るさを選ぶ

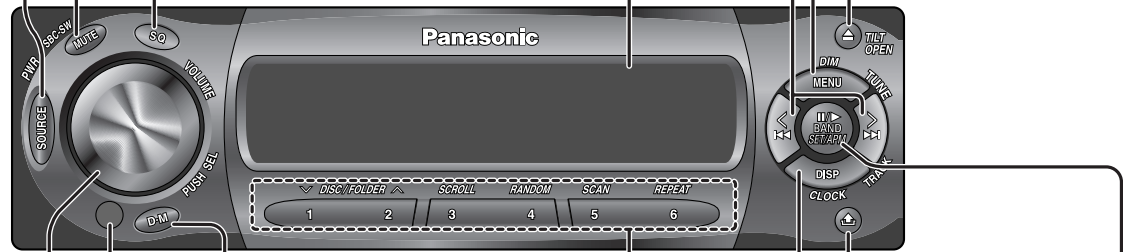
サウンドオリティ
S Q

- 音質効果を切り替える

表示部

オープン ティルト イジェクト
OPEN、TILT、▲(EJECT)

- パネルを開ける
- パネルの傾きを変える
- ディスクを取り出す



リモコン
受光部

ダイレクトメモリー
D・M

- 交通情報などを受信する
- ダイレクトメモリーに放送局を記憶させる

↑ (リリース)
● パネルを取りはずす

ディスプレイ クロック
DISP、CLOCK

- 表示を切り替える
- 時計調整モードに切り替える/決定する

ボリューム セレクト
VOLUME、SEL

- 音量を調整する
- 各種項目を調整・設定する

回す

押す

- 音質調整モードにする

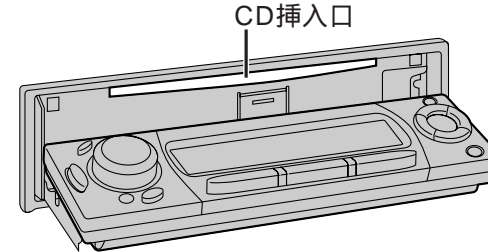
1 ~ 6

- 放送局を記憶させる/呼び出す(プリセット)... 「1~6」
- SQの調整を記憶させる..... 「2~6」
- フォルダを選ぶ(FOLDER ∨∧)..... 「1、2」
- ディスクを選ぶ(DISC ∨∧)..... 「1、2」
- タイトルをスクロールさせる(SCROLL)..... 「3」
- 順不同に聞く(RANDOM)..... 「4」
- 曲を探す(SCAN)..... 「5」
- 繰り返し聞く(REPEAT)..... 「6」

バンド セット オートプリセットメモリー ポーズ/プレイ
BAND、SET、 A P M、 ||/>

- バンドを選ぶ
- 機能設定の項目を決定する
- 放送局を自動で探し、記憶させる(一時停止・再生する(CD/MP3/WMAのみ))
- 2台のチェンジャーを切り替える

本体のパネル開口部



後面の端子については、「配線のしかた」をご覧ください。(P.44ページ)

リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

ソース パワー
SOURCE、POWER

- 音源(ソース)を選ぶ
- 電源を入れる/切る

ミュート アッテネータ
MUTE (ATT)

- 一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)
- リアスピーカーから低音域だけを出力するか、全音域を出力するかを選ぶ(スーパーバスコントロールサブウーファー)

0~9 (10キー)

- ダイレクト選択(番号入力)する
- 放送局を記憶させる/呼び出す(プリセット)..... 「1~6」
- SQの調整を記憶させる..... 「2~6」
- 順不同に聞く(RAND)..... 「4」
- 曲を探す(SCAN)..... 「5」
- 繰り返し聞く(REP)..... 「6」
- 〆 ∨..... 「8、0」

- フォルダを選ぶ
- ディスクを選ぶ
- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- 時間/分を調整する(時計調整モード時)

セレクト メニュー
SEL、MENU

- 音質調整・機能設定モードにする

ボリューム
VOL ∨ ∨

- 音量を調整する
- 各種項目を調整する

ナンバー
(NUMBER)

- ダイレクト選択モードにする(曲/ファイル/フォルダ/ディスク)

ディスプレイ
DISP

- 表示を切り替える
- 時計調整モードに切り替える/決定する

バンド セット オートプリセットメモリー ポーズ/プレイ
BAND、SET、(A P M) (||/>)

- バンドを選ぶ
- 機能設定の項目を決定する
- ダイレクト選択を決定する
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 一時停止・再生する(CD/MP3/WMAのみ)
- 2台のチェンジャーを切り替える

ご使用前に

各部のなまえとはたらき